

「地域包括ケアシステム」が目指す姿



「可能な限り住み慣れた地域で、自分らしく生活したい」と望む人が、医療や介護など必要なサービスを受けながら、在宅で自立した生活を続けられるよう、地域全体で支える仕組みです。

※「地域包括ケアシステム」は、おおむね 30 分以内に必要な支援が提供される日常生活圏域（中学校区が目安）を単位につくることを目指しています

医療

・かかりつけ医や地域の病院など



病気になったら…
医療機関に通院・入院をして治療。通えないときは、自宅で必要に応じた医療や看護を受ける



住まい

・自宅
・サービス付き高齢者向け住宅など



「地域包括ケアシステム」の基本。高齢者が「どのような暮らしをしたいか」が大切

介護

・通所系・訪問系・地域密着型サービスなど
・特別養護老人ホーム・介護老人保健施設などの施設サービス



地域包括支援センター

高齢者・家族の相談対応や自立した生活ができるよう支援

生活支援 介護予防

・老人クラブや自治会、NPO 法人など住民主体の活動



いつまでも元気に暮らすために…

地域住民の交流などにより、介護予防や見守り、助け合いが生まれる

介護が必要になったら…
通所介護や訪問介護などを活用して自宅などで生活できる。また状態によっては施設を利用する